2013 年 7 月 24 日作成

会報 No.10

平成25年第2回定例会（6月議会）報告

まだまだ気になる問題がいっぱい！

① ダイエー問題と浦安駅周辺再開発について
② 議長改選について
③ 「スワンカフェ＆ベーカリー」跡地利用について
④ 固定資産税について

文章中の議員名は姓で表記しています。また、紙面の関係で一部敬称を省略しています。

① ダイエー問題と浦安駅周辺再開発について

今議会では 6 名の議員（敬称略:水野、美勢、醍醐、元木、柳、広瀬）がこの問題を取り上げていた。

■ 経過

北栄 3 丁目の市有地（1600 坪）は、東西線浦安駅周辺の再開発のための予備地として、11 年前（平成 14 年）22 億 7000 万円の税金を使ってオリエンタルランド社から購入したものだ。この 6 月まで駐車場として利用されてきたが、昨年 3 月ダイエー側からの申入れを受け、今年 6 月 7 日に、浦安市はダイエーに貸付期間 20 年（但し、10 年後の建物買戻しによる契約解除条件付き）で本契約を締結した。

■ 議員質疑の主な内容

- 巨額の税金を使った土地購入の目的は「浦安駅前再開発」であったはずだ。ダイエーへの貸付は「目的外使用」で市民の期待を裏切るものではないか？市は「駅前再開発」をあきらめたのか？
- 貸付期間が 20 年では「再開発」に支障がでるのではないか？
- 周辺の地元商店にとって悪影響があるのではないか？

■ これに対する市側の答弁は以下のようなものであった。

- 駅前再開発をあきらめたわけではない。
- ダイエーとの契約は 10 年の解除条件付きで、暫定的なものだ。
- 地元商店とは話し合いをしてきた。

この他に議員から指摘された問題は、市長の「再開発」選挙公約未達成、住民の反対運動（デモ、監査請求）、交通渋滞の危険性などであった。

ダイエーへの貸付は「目的外使用」で、本来の目的の「浦安駅周辺再開発」が 20 年（10 年解除条件付きだが）に亘り、棚上げになりそうなのは残念だ。元町の皆さんは、「暫定的に」ご不便を我慢していただくことになりそうだ。

傍聴者のつぶやき

◆市側は 10 年 20 年を「暫定的」と言うが、日本のことわざでは「10 年ひと昔」と言う。

◆公約の「駅前再開発」は、本当に市長の任期中（平成 26 年秋まで）にできるのかな？

◆元町住民による市役所前の抗議、デモ行進、住民監査請求は今までなかったことだ。

② 議長改選について ～時間を要した新議長発表～

6 月の第2回定例会に先立ち、5/15 の臨時会で議長が交代した。2 年間議長を務めた辻田議長に替わり、西山議員が新議長となった。「一身上の都合」で辞任が認められた後に辻田前議長の辞任挨拶があり、これまでは「大過なく勤めることができた」と述べた。

その後投票になったのだが、新議長発表までにかなりな時間を要した。投票結果は1票差（西山市議 11 票、辻田市議 10 票）であった。

辻田前議長は昨年 6 月議会で、市議会始まって以来の「発言停止」を行った。我々「浦安市議会を傍聴する会」は、発言停止の根拠に対し、議会に対する行政の介入の疑念と浦安市議会規則 62 条（一般質問:議員の自己の意見を述べる権利）違反の疑いがある、との公開質問状を前議長に渡し回答を求めたが、辻田前議長は答えられなかった。

傍聴者のつぶやき

◆「発言停止」問題で物議をかもしたのに、それでも「大過なく勤めることができた」というのはどういうこと？

◆「一身上の都合」で辞任したのに 10 人もの議員がまた、投票したなんて。

◆西山新議長には規則を尊重した公平な議事進行を期待したいものだ。

③ 「スワンカフェ＆ベーカリー」跡地利用について
～スワン跡地の事業内容、未だ決まらず～

2月末にスワンが閉店してから4ヶ月、未だに跡地利用は決まっていない。市民は“いつオープンするのだろう？ 一等地なのにもったいない”と横目で見ながら通り過ぎていく。

広瀬議員の質問により、以下の点が明らかになった。

市と跡地利用をする浦安観光コンベンション協会との間で、6月25日に協定書が締結されたが、未だに運営計画書が出ていないとのこと。浦安市は、この跡地活用について浦安観光コンベンション協会に補助金 3,550 万円を付けて委託している。
その使途内容についての説明はなかった。

傍聴者のつぶやき

◆昨年 9 月にスワンに契約打ち切りを通告してから 9 ヶ月。

未だに跡地利用の計画書が市民に公開されないとは怠慢ではないですか。

その後の情報

浦安観光コンベンション協会が6月末に跡地利用事業者を公募した。事業者は60万円/月（家賃？）を協会に支払う。コンベンション協会は市から多額の補助金を受け取りながら事業を丸投げし、跡地を又貸しして家賃（？）を受け取ることになる。
それなら、市が自ら事業者を公募すれば、補助金は不要になるはずではないのか？　今後の成り行きがますます気になる。

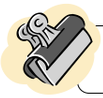
④　固定資産税について

浦安の液状化により、宅地の価格は大幅にダウンし、被害が大きいケースでは売るに売れない所もあるようだ。

一方、固定資産税に関わる土地の評価は被害状況を反映していない、との指摘が折本議員よりあった。（皆さん、市から送られてきたご自分の通知書を確認してください）

大規模損壊・半壊については、事後的に減免調整があるはずだが、その分の税収不足は国からの復興交付金により市に補填される。（26.8 億円）

皆さんへの個別減免のお知らせは 9 月になります。



ユニークな提案がありました。

岡本議員：新庁舎内にメモリアルブースを設け、故熊川前市長の功績を称えての胸像建立の提案。
市　長：功績は認識しているが、メモリアルブースでの胸像は現状では考えていない。町・市の変遷を知らせる場としては郷土博物館がある。

傍聴者の声

本来、地方自治体の行政は、市民のニーズを十分把握し、その要望にこたえる施策を立案・実施すべきであるが、残念ながら、往々にして主権者である市民の意向を無視して行政が一方的に政策を決定し推進する事例が少なからず見受けられる。

6月議会の一般質問で、公明党の田村議員が「市民意識の把握について」という件名で、市当局による市民の意識調査、パブリックコメント、U モニ（市政に関するモニタリング）、市民会議などによる民意の把握の現状や今後の課題について質問を行った。行政担当者の答弁によれば、案件によっては、これらの方法により民意の聴取が行われているようであるが、その反面、市民の意見を十分聞くことなく、行政当局が一方的に政策を決定し推進する事例も少なくない。高洲公園の液状化モニュメント、スワンカフェの閉鎖やその跡地利用、北栄3丁目市有地へのダイエー進出などの案件はその顕著な事例ではなかろうか。

市政の執行者が市民無視の独善的な姿勢を改めない限り、市民との軋轢は今後も頻繁に起こるであろう。

アンケートのお願い

「会報」をお読みいただきましてありがとうございます。

私たちは、浦安市を住みやすく暮らしやすい街にするために市政への関心を高め、一人でも多くの方に市議会を傍聴していただきたいと願って活動しています。

私たちが、市議会の傍聴結果を報告するため発行した「会報は今回で10号となります。

この 6 月議会でも、本会議を 6 日間、常任委員会を 3 日間傍聴しました。傍聴して分かったことを市民目線でお伝えするよう心がけていますが、今後のために皆さまからのご意見・ご感想をお伺いしたいと考え、アンケートを実施することにしました。

ご協力のほどよろしくお願いします。

下記のアンケートのご協力は、e－mail（アドレス：watching@jcom.home.ne.jp）にお願いします。

アンケートの結果報告は、当会のブログ（http://urayasusigi2.jugem.jp/）に掲載します。

この会報をお読みになり、率直なご意見をお願いいたします。

◆アンケート項目

<1>　浦安市議会を傍聴されたことは？
①ある　　②ない

<2>　今回、関心を持たれ記事は？

<3>　ご意見、ご要望をお聞かせください。

<4>ご記入の方の
年齢（　　）才　　（男　女）

ご協力ありがとうございました。

あなたが選んだ議員の活躍ぶりを傍聴しましょう！！

一般質問や委員会質疑は議員の皆さんの日ごろの調査や活動の成果が見える場でもあります。

●次期市長選 H26 年 10 月
●次期市議選 H27 年 4 月

◆発行：「浦安市議会ウォッチングの会」代表：天野恵雄
◆連絡先　・e-mail：watching@jcom.home.ne.jp
◆会のブログアドレス：http://urayasusigi2.jugem.jp/
ご意見・ご感想をお寄せください。

会報のポスティングにご協力いただける方のご連絡お待ちしています。